

(平成 29 年 7 月 24 日受付)

市役所庁舎移転について

■内容

市役所の新庁舎が現オークワ「オーシティ」の敷地へ移転との情報が報道されています。しかしオーシティを利用している市民にとっては、なくなるとたちまち日々の買い物が不便となります。

そこで新庁舎建設に当たり提案があります。新庁舎の 1 階のフロアを全てスーパーにして、2 階以上の階に行政機能を入れるのです。スーパーが入ることで市としても家賃収入があり、スーパーも集客を見込めると思います。最大のメリットとしては、スーパーと災害時の協定を結んでおけば、万が一の時の食品・生活用品等の備蓄機能を果たせるのではないのでしょうか？

民間企業が公的な建物に入るには様々なハードルがあり、全国的にも前例の無いことだとは思いますが、市が全国に先駆けて「災害対策モデル地区」となれば、市民全体の「防災」に対する意識向上につながると思います。

■回答

8 月 3 日に、本市と株式会社オークワ様との間で、「田辺市新庁舎整備事業に係る基本協定」を締結いたしました。これにつきましては、オークワ オーシティ田辺店・紀伊田辺シティプラザホテルの敷地において、本市の新庁舎を整備することについて、行政機能の安全性と市民の利便性の確保についての重要性の認識を共有し、地域の発展のために取り組むことを大きな方向性として合意をしたものでございます。

その基本協定の中で、オークワ様が、地域住民の暮らしの利便性を確保するため、新庁舎整備事業の対象となる区域において新たな店舗による営業継続ができるように取り組むものとし、市は、これに協力することとしております。

「新たな店舗による営業継続」については、まず、基本的にはオークワ様の方で取り組まれるものでありますが、近隣の皆さんの日常の利便を確保するために、市としてどのような形で協力をしていくか、今後、オークワ様との協議の中で検討をしてみたいと考えております。

また、ご意見をいただきました災害時の協定等につきましても、そうした協議の中や、新庁舎の検討を進める中で、考えてまいりたいと存じますので、よろしく願い申し上げます。

【総務課 庶務係】